

## 平成24年度第2回富山市入札監視委員会の概要

開催日時・場所	平成25年2月26日（火）午後2時から4時 富山市役所第4委員会室
委員 (委員数5名) 出席5名	委員長 古田俊吉（富山大学教授） 委員 新畑 彬（大沢野地域審議会会長） 委員 彼谷 環（富山国際大学准教授） 委員 島谷武志（弁護士） 委員 高見まち子（税理士）
次第	1 開会 2 富山市の入札・契約手続の運用状況について ・富山市の建設工事等の入札・契約制度について ・入札・契約事務の改善について ・指名停止等の運用状況について ・入札・契約方式別の発注工事及び落札率について 3 審議対象工事の抽出について 4 抽出工事の審議 5 審議結果のまとめ 6 閉会
対象期間	平成24年4月1日から平成24年9月30日まで
抽出工事 (落札率)	10件（対象工事件数596件） ① 一般競争入札（4件） ・市道中老田針原線(針原橋)歩道橋橋梁上部工事（84.51%） ・富山市科学博物館設備改修建築工事（98.15%） ・流杉浄水場連絡通路築造工事（98.41%） ・流域関連富山特定環境保全公共下水道長沢第2処理分区分婦中町長沢地区管渠築造（その1）工事（77.80%） ② 指名競争入札（5件） ・山室第2土地区画整理事業秋吉1号線外道路改良工事（98.66%） ・市営住宅水橋新保団地屋根改修工事（98.02%） ・市道宮ヶ島添島線改良工事（83.89%） ・白木水無県立自然公園白木峰8合目駐車場内バイオトイレ改築工事（86.92%） ・市道庵谷片掛線外消雪配管工事（97.98%） ③ 随意契約（1件） ・富山市民プール屋根修繕工事（100.00%）
審議の概要	別紙のとおり
委員会の意見	平成24年度上半期分の富山市発注の建設工事に係る入札・契約については、概ね適正に行われていたと判断する。

別 紙

意見・質問	回 答
①入札価格の積算に誤りがあり、落札候補者を辞退したことが指名停止措置要件の「不正又は不誠実な行為」にあたる理由は何か。	①落札候補者となり、低入札価格調査をする段階で左記理由により落札候補者を辞退することは、落札の決定を遅らせることとなり、「不正又は不誠実な行為」、すなわち信用を損なう行為にあたる。
②一般競争入札案件で総合評価落札方式をとるものの基準は何か。	②富山市では総合評価落札方式は試行段階にある。今年度は年度当初に発注を予定している一般競争入札案件の30%を目標として実施件数を定めた。価格面だけではなく、技術的な要素でも落札業者を見極めたい案件につき当方式を実施している。
③「流杉浄水場連絡通路築造工事」は予定価格が132,100千円という大規模な工事であるが、分割発注はできなかったのか。	③連絡通路の築造と配水池の撤去工事を一体的に施工管理する必要があったため分割発注はできなかった。
④「山室第2土地区画整理事業秋吉1号線外道路改良工事」の工期設定(平成24年6月6日から平成24年12月21日まで)が長くないか。	④区画整理事業なので、工事の支障になる建物や工作物の移転を待ちながらの施工となるため、工期は長めに設定した。
⑤日頃から入札辞退はよくあるのか。	⑤発注時期に人材や資材を準備できず辞退する業者はいる。
⑥指名業者選定の理由の1つに「指名回数」とあるが、具体的にはどのような基準を設けているのか。	⑥具体的な基準はなく、担当課単位でこれまでの指名回数をカウントし、各業者の指名回数に大きな差が出ないようにしている。
⑦「富山市民プール屋根修繕工事」は建築時と同様の方法で工事したのか。	⑦基本的には同じ方法で施工しているが、今回は屋根と躯体を固定するビスの間隔を狭くし、風が入り込む隙間を少しでもなくす工夫をした。